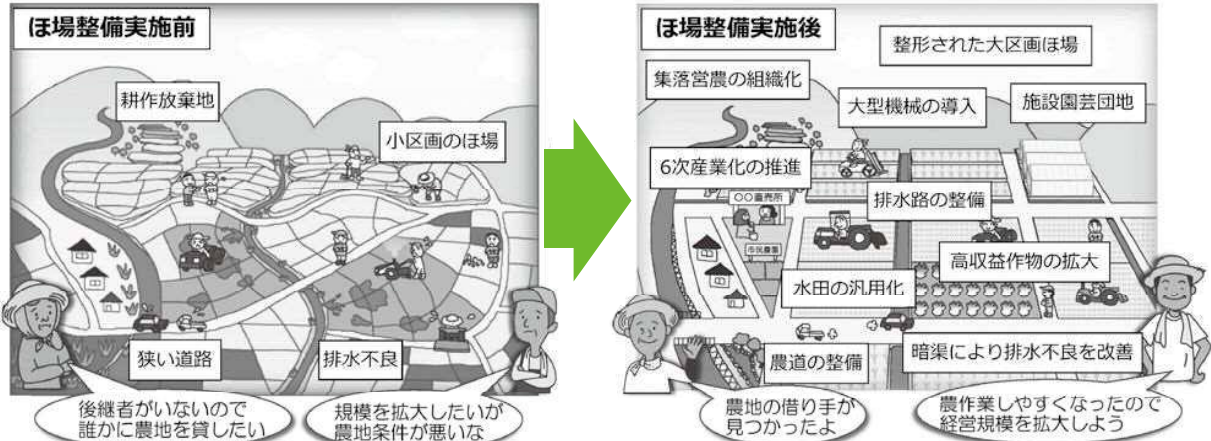


シリーズ国営ほ場整備②

なぜ今ほ場整備なのか？

高齢化や後継者不足により南国市でも農業者の人数が減少しており、このままでは10年後、20年後に耕作できない農地が増え、地域の農業が守れなくなってしまう恐れがあります。ほ場整備によって農道や水路を整備し、農地を大区画化することで、将来も耕作を続けやすく、また耕作できなくなっても担い手の方などに借りてもらいやすくして、耕作放棄地の発生を防ぎたいと考えています。あわせて、収益性の高い農作物への転換や農業法人の参入など、営農計画も検討し、地域の農業所得を向上させようと計画しています。



■問い合わせ 農地整備課 ☎880-6586



119番通報の多言語対応通訳サービス開始のお知らせ



管内にお住いの外国人の方や外国人観光客など、日本語を介してのコミュニケーションが困難な方からの119番通報や災害現場での対応を円滑に行うために、民間の電話通訳センターを介した多言語通訳サービスが令和元年6月1日より高知県下一斉に導入されました。

○119番通報時の対応 通報者、消防（通信員）、電話通訳センターの三者間通話での相互通訳となります。
○現場対応時 消防隊員、救急隊員と外国人が、交互に携帯電話を持ち替えて電話通訳センターと対話する二者間通話での相互通訳となります。

○対応時間 24時間 365日 体制

○対応言語 英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語の5言語

